



News Release

令和5年5月18日

アランマーレ富山×富山県立大学 足裏にかかる摩擦力など3方向の力計測が可能な シューズを活用した効果的なチーム強化方法の模索を開始

富山県立大学の研究グループが、射水市に本拠を置く女子ハンドボールチーム「プレステージ・インターナショナル アランマーレ」にご協力いただき、センサ付きシューズを利用して選手の足裏力分布や重心移動を計測・分析する取組みを、次のとおり開始しますので、お知らせします。

- 日時 令和5年5月23日(火) 15:00~17:00
- 場所 ビルト・プレイズ歌の森体育館
(富山県射水市黒河712)
- 内容 富山県立大学の研究グループ(下山勲学長、知能ロボット工学科野田堅太郎講師/塚越拓哉講師)は、MEMS(※1)力センサを取りつけることで、足裏にはたらく3方向の力を計測可能とした世界初のセンサ付きシューズ(※2)で、人の歩行や運動をデータ化して解析する研究を行っています。
同グループではこのたび、センサ付きシューズを利用してハンドボール選手の足裏力分布や重心移動を計測・分析することで、従来よりも効果的なチームの強化方法を模索するとともに、そのためにMEMS力センサがどのように機能するかを実験的に検証します。

※1 MEMS: Micro Electro Mechanical Systems の頭文字を並べた技術用語で、基板上に機械部品、センサ、アクチュエータ、電子回路を集積化したデバイスをいう。

※2 下山学長が関わった東京大学発ベンチャー企業タッチエンス株式会社(東京都台東区)が製造販売する「ショッカクシューズ」を活用。